

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	
新任者・退任者挨拶	11~14



みどりの
Midori no Tohoku
東北
No.230
令和5年2023.5
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office



北上高地標高1,000m前後の平坦地にある湿原で、北上高地の
数少ない湿原地の中で最も美しい場所と言われています。5月頃
にはミズバショウの見事な群生が見られ訪れる人を魅了します。

ひっそり
櫃取湿原希少個体群落保護林のミズバショウ (岩手県・岩泉町) [提供:三陸北部森林管理署]

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

森林セラピーで癒しを満喫！

岩手

盛岡森林管理署

当署管内の岩手町は、平成27年にNPO法人森林セラピーソサエティから町全域を「森林セラピー基地」として認定を受け、「森林セラピーロード」のコースを活用して岩手町の自然が醸し出す癒し効果を体感し、健康の維持増進を図る取組を行っています。国有林内にも「遊々の森※」を設定し、町民を対象とした各種イベントや地元の緑の少年団の活動の場として利用されています。

令和4年6月26日には、国有林内の森林セラピーロードを活用したイベントが開催され、森林医学認定医でテレフォン人生相談のパーソナリティでも活躍されている今井通子先生を講師にお迎えし、町民等25名が森林セラピーを体験しました。当署職員も署長はじめ6名が森林ガイドとして参加者のサポートを行いました。

当日は天候にも恵まれ、散策途中の嵐山展望台からは、南側に姫神山、東側には東北新幹線のいわて沼宮内駅、北側には七時雨山の眺望が見られ、参加者は心地よい汗をかいて散策を楽しんでいました。



森の中で深呼吸（右から3人目が今井通子先生）

当署では、国有林のフィールドでの森林ふれあいイベント等への活動に今後も協力していきます。

※協定締結により、国有林で森林づくり活動や体験活動を行うことができる国民参加による森づくり活動の1つで、学校や地方公共団体等による森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動等へ国有林をフィールドとして提供をする制度。

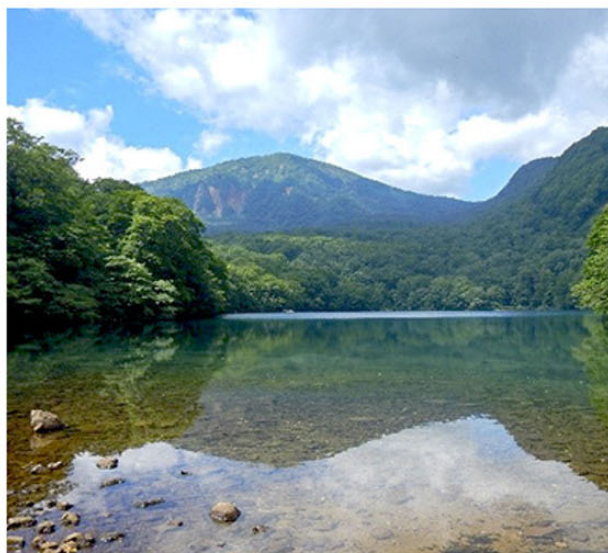
赤沼周辺の登山道整備

青森

三八上北森林管理署

当署管内の鶯国有林には、大小7つの沼が点在する鶯七沼つた ななぬまがあります。

その1つに数えられる「赤沼」は、奥にそびえる赤倉岳と共に美しい自然景観地として知られ、周辺には、多様な植物が生育しています。



夏の赤沼（環境省提供）

国道から「赤沼」を經由し「鶯沼」（鶯七沼の1つ）に至る山道は、これまで、登山道として管理がされていないため、入山者による必要以上の刈払いや樹木の枝切り、規定ルート外への立ち入りが課題となっておりましたが、十和田八幡平国立公園管理事務所（環境省）及び十和田市と協議を重ねた結果、令和4年6月から十和田市が登山道として管理することとなりました。

登山道の整備をすることにより、これまで以上に入山者の増加が見込まれることから、生態系の維持や駐車場スペースの確保、情報発信の方法といった様々な課題への対応が必要となります。その対応策について、今後も検討しながら十和田市において適切な管理がなされるよう、そして、この美しい自然景観が維持されるよう十和田市及び環境省と協力していきたいと考えています。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

地域を守る治山事業

秋田

秋田森林管理署

森林管理署では、森林の育成や木材を生産しているほか、台風などの自然災害による山地被害の軽減を図り、さらに発生した山地被害の復旧を担う治山事業も行っています。

治山事業は、山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全することを目的に行われ、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る極めて重要な国土保全施策の一つとして、安全で安心できる豊かなくらしの実現を図るための必要不可欠な事業です。

地震や大雨といった自然災害によって生じた山地被害を復旧する復旧治山工事や、あらかじめ被害あるいは被害の軽減に備える予防治山工事など目的別に様々な工事が毎年計画的に実施されています。

今年度の当署の治山事業予定においては予防治山工事3箇所と復旧治山工事1箇所が計画されています。土木的手法を用いての工事が主ですが、水源涵養や生活環境の保全等に必要な場合は、治山事業として植林や保育等も行います。

線状降水帯の発生による過去に経験したことのない雨量や地震など激甚化する様々な災害のリスクに備え、今できることを着実に実行し、地域の安全・安心な暮らしを守ることに努めていきます。



大雨で生じた被害



復旧治山工事完了

ナラ枯れ被害先端地域での取組

岩手

三陸北部森林管理署久慈支署

さむらいはまちょう

当支署管内久慈市侍浜町の民有林がナラ枯れ被害の太平洋側の先端地域となっています。

ナラ枯れは、体長5ミリ程度の昆虫「カシノナガキクイムシ」が運ぶナラ菌の影響で、主にコナラやミズナラがナラ菌に感染すると、木の水を吸い上げる機能が妨げられ枯死する伝染病で、1980年代以降、日本海側を中心に拡大し、最近では太平洋側でも被害が広がっています。

当支署管内では、令和元年度に久慈市沿岸部の三崎山国有林で初めて7本の被害木が確認され、毎年被害木の伐倒・薬剤によるくん蒸作業を行っています。年々被害が広がり昨年度は管内国有林だけで約1,800本の被害木が確認されました。



被害木のくん蒸作業

久慈地域は、ナラ原木による椎茸栽培や岩手県が生産量日本一を誇る木炭生産の一翼を担っており、ナラ枯れ被害の拡大による地元経済への影響が懸念されます。

当支署では、被害拡大防止のため、ドローン等を活用した被害木の調査や地元関係機関による「久慈地区ナラ枯れ被害対策連絡協議会」での情報交換、駆除についての連携を図るなど、更なるナラ枯れ被害の北上を防止するための取組を関係機関と連携して強化していきます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

モニター制度を活用した国有林野の管理経営

岩手

岩手南部森林管理署

岩手県の南部では奥羽山脈沿いに地すべり地形が多く分布しています。当署管内の「オボカ沢」もその一つで、活発な地すべり活動が長年継続しており、土砂災害が再三発生してきました。

このような災害を防止するために、オボカ沢では長年数多くの地すべり対策工事を実施してきました。昨年8月には、地すべり対策工事等国有林野事業について理解を深めていただいた上で御意見・御要望をいただくため「国有林モニター見学会」を開催しました。



熱心に説明を聞く国有林モニターの皆様

見学会では、①地すべりの原因となる地下水の水位が地すべり面より上昇してすべりやすくなることを防止するために地下水を外部に排水する「地下水排除工」、②地すべり面よりも深い基盤に打ち込んだアンカーと地表の受圧板を連結する鋼線を引っ張ることにより、受圧板を通して地すべり体を押さえつけて地すべりを抑止する「アンカー工」、③地すべり末端部分の溪床での水による浸食を防止し地すべり体を安定させる「溪間工」などの主な対策について説明し、モニターの皆様からは、工事について活発な御質問や御意見等がでました。

地すべり対策の実施箇所は山奥で人目に触れる機会が少ないため、モニターの皆様からの貴重な御意見等をいかした管理経営を行っていきます。

森林整備と木材の有利販売の推進

青森

青森森林管理署

森林を健全な状態に保つためには、定期的な間伐等を行うなど森林を整備していくことが重要です。当署ではそうした森林整備などの伐採を行う際に、一部で天然に芽吹き生育した広葉樹が生産されています。こうした広葉樹については、極力一般材（丸太）の採材をし、天然林（㊤）、国有林・高品質材（㊤）の、高品質ブランド材として、令和4年度から供給を開始しています。



センノキ（長さ2.20m×直径86cm）

令和4年11月25日に青森県森林組合連合会へ出材した㊤㊤広葉樹のセンノキは、最高値で17.5万円/㎡で、有利販売を行うことができました。

また、当署の位置する青森県は日本三大美林の一つである青森ヒバの産地として昔から有名です。



青森ヒバ（長さ8.60m×直径54cm）

現在、青森ヒバ林のほとんどを国有林が占めています。そのため民有林からの供給が期待しにくい青森ヒバの有利販売に取り組んでいます。

令和5年1月25日に㊤㊤青森ヒバを全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会（全天連）主催の市場（名古屋国有林材協同組合）に出材し、最高値31万円/㎡と高く評価されました。

今後も適切な森林の整備を進めていくとともに、国有林の資源を最大限有効活用しながら、地域の木材産業へ貢献していきます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

貴重な森林を守るGSS活動

山形

置賜森林管理署

当署管内の飯豊山^{いいでさん}と吾妻山^{あづまやま}は、日本百名山に数えられており、美しい草花や雄大なパノラマを楽しむことができることから、毎年多くの人々が訪れてにぎわいます。

たくさんの人々に自然の素晴らしさを知ってもらえることは、大変うれしいのですが、残念ながら、歩道の脇にゴミを捨てていたり、立入が規制されているエリアに足を踏み入れたりするなど、ごく一部ですが心ない人が見受けられるのが現状です。そこで、当署では飯豊山及び吾妻山周辺の貴重な森林生態系を保護し、適切に保全するため、森林保護員（グリーン・サポート・スタッフ（GSS））によるパトロール（巡視活動）を行っています。

主な活動内容としては、チラシ等の配布による入山者へのマナー啓発、標識や歩道の簡易な整備活動及び



自然環境についての啓発活動

自然環境についてのPR活動等貴重な森林生態系の保全活動をしています。

当署では、これからもGSSの巡視活動を通じ、

入山者に対するマナーの啓発、自然保護に関するPR活動などを行い、貴重な森林生態系を守っていきます。



入山カウンターの設置

ICT技術を活用した林道新設工事

岩手

三陸中部森林管理署

林野庁では、近年林業へのICT技術の活用を推進しており、令和4年度に施工した大森沢林道（林業専用道）新設工事では、工事を受注した事業者からICT建設機械を導入し作業の効率化を行いたいと希望があり、ICT技術を活用した工事を行うことになりました。

今回活用したICT技術は、2次元設計データを基に3次元設計データを作成し、ICT建設機械（バックホウ）にデータを取り込み、測量機器（自動追尾式トータルステーション）で作業するバックホウの位置をリアルタイムで計測し、計画した高さ・勾配になると音声ガイダンスにより知らせてくれるというものです。



ICT技術を活用して掘削を行った法面

この技術を活用した結果、施工する際の目印である丁張り約150箇所を設置作業のほとんどを省略することができたことから、掘削や法面の整形等の作業を

効率化することができました。

ICT技術は、このような林道工事での活用だけでなく、森林管理や林業の現場作業の様々な場面での活用による林業の効率化が期待されています。今後当署においても、立木の計測・調査等における航空レーザ計測や地上型レーザ計測結果の活用、GSS※測量機器などを導入予定であり、新しい林業への展開に向けて取り組んでいきます。

※Global Navigation Satellite Systemの略。GPSなど人工衛星からの信号を受信し、現在位置などを記録するシステムのこと

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手

岩手県にのへし二戸市

岩手北部森林管理署

二戸市は、岩手県北部の馬淵川まべちと安比川あつひの合流部に位置し、東には北上山系の折爪岳、西には奥羽山脈いなにわだけの稲庭岳が鎮座し、北は青森県境（三戸町・田子町）と接しています。

市の中心部にある九戸城跡は、豊臣秀吉天下統一の最後の合戦場であったことや、東北最古級の石垣が残っていること、奥州に見られる中世城郭の特色（九戸城）と、西国様式の近世城郭の特色（福岡城）、この2つの時代の城郭をここで見るができます。奥羽最後の激戦地にて、その戦禍を共にした九戸政実の哀涙は、詩人土井晩翠が書き残した「荒城の月」にも表されています。



国指定史跡 九戸城跡

温泉地でも有名な金田一温泉は、寛永3年（1626）に発見され、正徳2年（1712）に南部藩の指定湯治場となったことから「侍の湯」と呼ばれて親しまれてきました。「座敷わらし」の里としても



金田一温泉「おぼない旅館」

広く知られ、出会った人に幸運をもたらすと言われる「座敷わらし」の存在は、児童小説などの舞台にもなり、地域の子供から大人まで心の中に息づいています。

また、二戸市は、国産漆の生産量約8割を占める日本一の産地です。浄法寺漆じょうぼうしゅうりしは、地元で浄法寺塗に使用されるほか、国宝や重要文化財の修復にも使用され、日光東照宮の陽明門や金閣寺の修復などに使用されてきました。現在の八幡平市から二戸市浄法寺へ続く安比川流域では、古くから木地づくり、漆掻き、漆塗りが生業として盛んに行われてきました。古来より人々の生活に深く関係してきた漆文化は、令和2年6月、文化庁により「“奥南部”漆物語～安比川流域に受け継がれる伝統技術～」が日本遺産に認定されました。



伝統的工芸品「浄法寺塗」

折爪岳はヒメボタルの生息地として県の天然記念物に指定（平成30年4月）されています。例年7月中旬の夜には、約100万匹のヒメボタルが明滅を織りなします。ミズナラ・ブナ林で幻想的な輝きを放つ「森の宝石」の模様を是非ご観賞ください。



ヒメボタルの里 折爪岳

お問合せ先：二戸市商工観光流通課 Tel.0195-43-3213

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

宮城

宮城県柴田郡川崎町

仙台森林管理署

川崎町は、車で仙台市の中心部から40分、山形市の中心部から30分の距離に位置しています。

東北唯一の国営公園「みちのく杜の湖畔公園」は、季節ごとの花々で彩られ、休日には多くの家族連れで賑わいます。桜が満開になる頃には、東北最大級の野外音楽イベント「荒吐 (ARABAKI) ロックフェスティバル」が開催され、全国から5万人の若者たちが集結する様子は、圧巻そのものです。



若者が熱狂する荒吐ロックフェスティバル

また、北蔵王の登山シーズンは5月頃から始まりますが、初心者から上級者まで楽しめるコースがあり、宮城県側は仙台平野や太平洋、山形県側は山形市中心部や月山を望むことができます。そして、夏の沢では欧米発祥のキャニオニングが行われており、渓流でのウォータースライダーや滝壺への飛び込みなどを楽しむことができます。



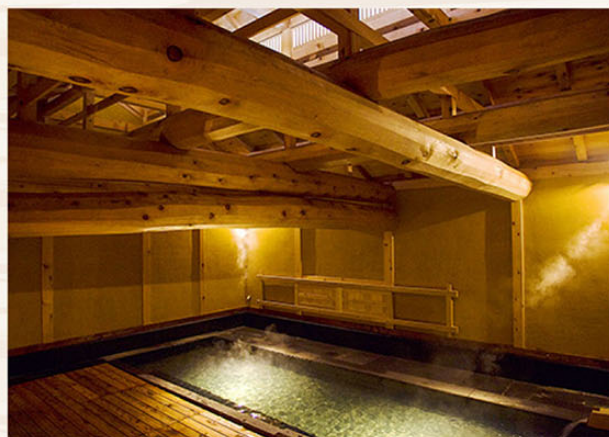
迫力満点のキャニオニング

さらに、山形自動車道・笹谷ICから車で約1分の好アクセスにある「みやぎ蔵王セントメリースキー場」は、グレンデと高速道路が立体交差するとても珍しいスキー場です。平成30年には、プラスチック樹脂製のマットを敷いた東北最大級のサマーグレンデを整備し、スキー競技者を中心に賑わいを見せています。



冬のスキー用具で滑られるサマーグレンデ

体を動かした後はやっぱり温泉。青根温泉は、伊達政宗公をはじめ歴代の仙台藩主にも愛された「御殿湯」で、川端康成や芥川龍之介など名だたる文豪も逗留しました。また、義々温泉は、蔵王の山懐に抱かれた秘湯の宿。胃腸に効くとされる日本三大温泉として知られ、伝統の入浴法のかけ湯が楽しめる「あつ湯」の他にも、ゆったり入れる「ぬる湯」、蔵王の自然を感じられる「露天風呂」など様々な形で楽しめます。



趣漂う名湯「青根温泉」

お問合せ先：川崎町地域振興課 Tel.0224-84-2117

4月18日に令和5年度東北森林管理局の取組を公表しました。新たな森林・林業基本計画に掲げた「グリーン成長」の実現に向け、様々な取組を展開していきます。その中で特に重点的な取組について紹介いたします。

1. 青森ヒバと秋田スギの美林誘導プロジェクト

日本三大美林と謳われる青森ヒバ天然林及び秋田スギ天然林について、維持・保護に取り組んできました。後世に引き継ぐよう、これまでの取組に加え、質の高い優良林分を美林へ誘導する取組の検討・試行を開始します。



詳しくはこちらから
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/keikaku/birinyudo.html>



2. 森呼吸のできるお手軽健康

ウォーキングBOOKの発行

様々な分野で森林空間を活用する森林サービス産業の推進に向けて、国有林野の利活用に取り組んできました。国民の健康づくりに注目し、比較的軽装で散策を楽しめる国有林のおすすめスポットについて情報発信します。



森呼吸のできるお手軽健康
ウォーキングBOOK

◎各県のおすすめスポット

青森県	5箇所
岩手県	7箇所
宮城県	2箇所
秋田県	6箇所
山形県	4箇所

詳しくはこちらから
https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/policy/business/management/hozen/walk_book.html



3. 「新しい林業」に向けた取組の展開

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を図る「新しい林業」を展開すべく、令和4年度を期首とする筋刈導入や生産性向上に向けた3か年計画を作成し、取り組んできました。再造林の低コスト化に向けて、筋刈の導入・拡大により、下刈単価の縮減を目指します。



筋刈による刈り払い

4. 東北森林管理局における高品質ブランド材の供給

国内外とも調達が難しくなっている高品質材について、令和3年度末にブランド規格を制定し、管内各地の優れた国産材資源の有効活用に取り組んできました。原木市場の関係者等を通じて需要動向や情報収集を行い、需要者のニーズを踏まえた供給拡大に取り組みます。



市場に出品された広葉樹材

令和5年度東北森林管理局の取組はホームページに公表しておりますので、是非ご覧ください。
(<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/topics/attach/230418.html>)



山地災害危険地区について

令和4年の日本全国の山地災害被害は、被害箇所数949箇所、被害額約452億円であり、被害額の対前年同期比は101%となっています。



令和4年8月大雨による被災状況
(青森県外ヶ浜町)



令和4年の
山地災害の発生状況
(林野庁ホームページ)

日本の国土は、その地形・地質や気候条件、住居形態から山地災害が起こりやすい特性があります。そのため、私たちは普段から災害に備えておく必要があります、その一つとして「山地災害危険地区」を知っておくことも大事です。

山地災害危険地区とは、山地災害の発生するおそれのある地域を林野庁が定める調査要領に基づき判定したもので、その予想される災害形態により次の3種類に区分されます。

1. 山腹崩壊危険地区
(山腹崩壊や落石による災害が発生する危険性が高い地区。)
2. 地すべり危険地区
(地すべりによる災害が発生する危険性が高い地区。)
3. 崩壊土砂流出危険地区
(山腹の崩壊や地すべりによって発生した土砂などが土石流となって流出し、災害が発生する危険性の高い地区。)

山地災害危険地区の情報は、東北森林管理局のホームページに掲載されています。また、現地には看板が設置されていますので、お住まいの山地災害危険地区の情報をご確認いただき今後起こりうる災害に備えてください。

東北森林管理局の山地災害危険地区
(東北森林管理局ホームページ)



ご関心のある方は、治山課
(TEL:018-836-2019)へお問合せ下さい。

海岸林の防災機能の維持・向上について

ひょうぶさん

青森県にある屏風山海岸防災林は、津軽半島の日本海に面する七里長浜に沿って南北に展開する



屏風山海岸防災林

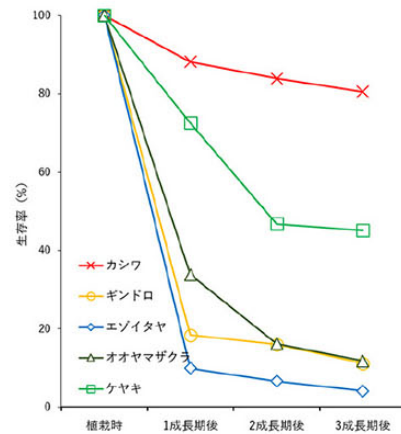
砂浜に延長18kmに渡って造成されていますが、近年、松くい虫、ナラ枯れの被害が迫ってきており、蔓延した場合、クロ

マツやカシワを主体とした海岸防災林は衰退し防災林機能の低下が懸念されます。このため、松くい虫等被害の防除対策として屏風山海岸防災林に適した樹種転換手法を明らかにすることを目的に、植栽試験、林況調査を実施しました。

植栽試験は青森県の海岸域に分布するカシワ、ケヤキなどの計5種を植栽し、成長量と活着の状況を調査しました。植栽試験の結果については、海岸沿いの生存率がいずれの樹種も植栽後3年間で

全本数の2~9割が枯損するなど、植栽環境の厳しさから広葉樹への樹種転換は難しいことが改めてわかりました。内陸側は将来的にはクロマツと広葉樹の混交林が望ましいと考えられます。

屏風山海岸防災林の管理方針として、一様に林分を管理するのではなく、海岸林の防災機能の維持・向上に向け、地域住民と協力しながら、立地環境に応じて適切に管理し、今後も行政と地域が一体となった森林づくりに取り組んでいく必要があります。



海岸沿いの植栽試験の結果

ご関心のある方は、森林技術・支援センター
(TEL:0173-57-9022)までお問合せ下さい。

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として
働く人の紹介です。

林業を経験して

山形

山形県森林ノ整備事業協同組合
有限会社高菊林業 根岸 美歩さん

当社が所在する山形県真室川町は古くより林業が盛んで、現在も町内の森林面積は町の総面積の9割近く、そのうち約8割が国有林となっています。私はそんな自然豊かな真室川町で林業に携わり、まもなく入社して2年となります。当社で初めての女性従業員ですが、優しくおもしろい先輩ばかりで和やかに楽しく仕事をしています。

屋外で作業をする仕事は初めてで、入社前は女性にもできるのかと不安もありましたが、当社では高性能林業機械を多く導入しているため、だんだんできる作業が増えていっています。私は主にチェーンソーでの造材、高性能林業機械を使った造材、運搬、巻立まきたてを行っています。製材所に美しい丸太を製品として買ってもらうため、汚さないよう、サイズのズレがないように、さらに傷つけないよう気をつけて採材しています。とてもきれいに切れたときは安心うれしくなります。また、全て運搬、巻立し積んだ材の量を見るとこれだけ仕事をしたのだとやりがいを感じます。

山の中でふとした時に辺りを見渡すと、山の広さや森林のきれいさ、空気のおいしさを感じることができ、そこも林業の魅力だと思います。若い世代も増えつつあり、楽しく仕事できますので、ぜひ私たちと一緒に仕事をしましょう。



高性能林業機械を乗りこなす筆者

シカの被害から守るために

宮城

宮城北部森林管理署 石巻森林事務所
地域技術官 畠山 優親さん

当事務所は、宮城県沿岸北部に位置し、石巻市と東松島市の国有林を管轄しています。

管内は複雑な海岸線からなる優れた景観が多く、三陸復興国立公園に指定されています。また、「ブルーインパルス」は日々訓練を行っており、その練習風景をいつでも見ることができます。

私は、この4月に当事務所に転勤となり、着任早々管内の下層植生の状況に驚きました。通常であれば樹木の下に雑草やササ等の植物が豊富に生えているのですがほとんどありませんでした。全てシカに食べられてしまったのです。

また、シカはせっかく植樹したスギ等の新芽も食べてしまいますので、シカが侵入しないように柵（防鹿柵）を設置していますが、破損していないか定期的に見回りをする必要があります。

1カ所でも破損してしまうと、そこから侵入して根こそぎ食べられてしまいますので、見回りの際補修を行うのがとても重要な作業です。



防鹿柵の補修を行っている筆者

一日中山を歩き回ると体は疲れますが、休憩の時に見えるコバルトブルーの海が疲れを一気に吹き飛ばしてくれます。森林官の経験が浅く毎日四苦八苦していますが、地域の山をどのように作っていくのか自分で考えながら実行できることに森林官のやりがいを感じます。

皆さんも国有林を最前線で管理する森林官として一緒に働いてみませんか。

5月中旬

思太田窯展

5月12日(金)～5月15日(月)
町内に窯を有する思太田窯展。作品が一同に並び、焼き物展示即売(宮城県/道の駅「村田」物産交流センター)

黒石緑化まつり

5月13日(土)～5月14日(日)
花木・盆栽などの展示即売会や苗木の無償配布があります(青森県/黒石市緑化推進協議会)

丸森いち

5月13日(土)～5月14日(日)
仙南地域の特産品や植木、種苗の販売、牛タン、ハンバーグ等販売(宮城県/丸森町商工会)

母の日カーネーションフェア

5月13日(土)～5月14日(日)
母の日に合わせてカーネーションの即売会を実施(宮城県/道の駅「村田」物産交流センター)

あじがさわヒラメフェス

5月14日(日)
鱈ヶ沢の名物「ヒラメのツケ丼」が楽しめます(青森県/鱈ヶ沢町)

からめ節金山踊り

5月14日(日)～5月15日(月)
鉱山の守り神である両社山神社祭典で奉納踊りが行われます(秋田県/鹿角市)

酒田まつり

5月19日(金)～5月21日(日)
上下両日枝神社の例大祭、1609年から続いているお祭り(山形県/酒田市)

徳仙丈山のツツジ開花シーズン

5月中旬～5月下旬
日本最大級のツツジの名所、約50万本ものツツジが満開(宮城県/気仙沼市観光協会)

5月下旬

菜の花フェスティバルinよこはま

5月20日(土)～5月21日(日)
菜の花大迷路や菜の花マラソン大会、ステージショーを開催(青森県/横浜町)

能代公園おもしろアート春祭り

5月20日(土)～5月21日(日)
つつじを楽しみ、美観に心を癒し、文化を惹き寄せませんか(秋田県/能代市)

大鰐温泉つつじまつり

5月20日(土)～5月24日(水)
茶臼山公園に1万5千本以上のつつじが咲き誇ります(青森県/大鰐町)

第22回生協ふれあいの森植樹祭

5月21日(日)
眺望山自然休養林内でヒバの苗木などを植樹します(青森県/青森県生活協同組合連合会)

栗駒山山開き

5月21日(日)
今季は残雪が多めです。この時期は防寒着など十分な装備を(宮城県/栗駒山観光協会)

鶴岡天神祭(化けものまつり)

5月24日(水)～5月25日(木)
学問の神様といわれる菅原道真公を祀る鶴岡天満宮のお祭り(山形県/鶴岡市)

錦秋湖湖水まつり

5月27日(土)
湯本鬼剣舞公演など、メインとなる花火大会は湖面を彩ります(岩手県/西和賀町観光協会)

七時雨山山開き

5月28日(日)
田代平カルデラの南壁にあり、「一日で七度天気が変わる」と言われています(岩手県/八幡平市)

6月上旬

八幡平山開き

6月1日(木)
残雪上を歩き、八幡沼、鏡沼等の散策や奥羽山脈の眺望を楽しめます(岩手県/八幡平市、秋田県/鹿角市)

秋田駒ヶ岳山開き

6月1日(木)
ミネザクラなど駒ヶ岳の可憐な花々を楽しめます(秋田県/仙北市)

湯殿山開山祭

6月1日(木)
出羽三山の奥の院と呼ばれている「湯殿山」山開き行事(山形県/鶴岡市)

まぼろしの滝・与蔵の森トレッキング

6月3日(土)
やまがた百名山与蔵山の大自然に親しむトレッキングです(山形県/鮭川村観光協会)

十和田湖山開き

6月4日(日)
新緑の外輪山を登山し美しい山々や湖畔の景色を楽しめます(秋田県/小坂町)

愛宕山公園のシャクヤク園

5月下旬～6月上旬
約1万株の赤や白のシャクヤクが夏の訪れを告げます(宮城県/色麻町)

残雪の裏岩手連峰開山祭

6月中旬
残雪の裏岩手連峰、新緑の松川渓谷と秘湯巡りを満喫できます(岩手県/八幡平市/八幡平市観光協会)

白神の森遊山道トレッキングガイド

4月22日(土)～10月29日(日)
遊山道のトレッキング等が楽しめます(土日祝日限定・要予約)(青森県/鱈ヶ沢町)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

新任者・退任者挨拶

4月1日付

計画保全部長

山根 則彦 (出身県: 栃木県)
前職: 九州森林管理局計画保全部長



熊本から参りました。はじめての東北局勤務です。業務に当たっては、広大な管内の状況把握に努め、職員の皆さんと明るく楽しく着実に取り組んでいきたいと思っております。また、仕事外でも各地を観て回る考えです。これからよろしくお願いたします。

企画調整課長

田島 英樹 (出身県: 埼玉県)
前職: 農林水産省大臣官房政策課企画官



国有林勤務は、北海道森林管理局以来9年ぶり、単身赴任生活は京都府庁出向時以来2年ぶりとなります。広大な東北森林管理局管内の国有林のポテンシャルを発揮し、地域の森林・林業の発展に貢献できるよう、微力ながら取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

経理課長

北林 昭彦 (出身県: 秋田県)
前職: 経理課専門官 (債権管理)



経理課長を拝命しました北林です。「常に国民目線」と「説明責任」を柱に、適正な会計処理となるよう、各署・支署等、局内各課とキャッチボールをさせていただきますので、よろしくお願いたします。先ずは、経費の削減について今以上に何を節約できるか検討をお願いたします。

森林整備課長

平浪 浩二 (出身県: 熊本県)
前職: 復興庁福島復興局浪江支所長



この度、4月1日付けで森林整備課長を拝命いたしました平浪です。東北森林管理局は初めての勤務となります。十数年ぶりの現場勤務ですが、できる限り早く人と地域を知り、何事にも全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

資源活用課長

安食 義弘 (出身県: 山形県)
前職: 秋田森林管理署次長



資源活用課長を拝命しました安食です。当課の重要な使命の一つは木材の安定供給になります。木材の需給動向を注視しつつ取り組んで参ります。また喫緊の課題である「新しい林業」に向けた生産性の向上についてもその取組を鋭意進めてまいります。

津軽森林管理署金木支署長

畠山 智 (出身県: 秋田県)
前職: 東北森林管理局企画調整課監査官



4月1日付けで津軽森林管理署金木支署長を拝命しました畠山智です。5年ぶりの津軽地方での勤務となりますが、国民視点に立った業務運営を心がけ、職員と一緒に頑張って取り組んでまいりますので宜しくお願いたします。

三八上北森林管理署長

大倉 正彦 (出身県: 秋田県)
前職: 林野庁林政課管理官



4月より三八上北森林管理署に参りました大倉です。昭和58年に東北森林管理局(旧秋田営林局)に採用され、実に32年ぶりの東北局勤務となります。地元自治体等と連携を図り、信頼される国有林となるべく、職員一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

三陸北部森林管理署長

葛西 貴仁 (出身県: 青森県)
前職: 三八上北森林管理署長



初めての岩手県三陸方面の勤務になります。これまで経験したことのない森林の管理経営ができることを楽しみにしております。地域の方々と積極的に交流を深めながら、地域と連携した森林整備を署員と共に頑張っております。

新任者・退任者挨拶

4月1日付

盛岡森林管理署長

山口 孝 (出身県:千葉県)
前職:中部森林管理局森林整備部長



東北局での勤務は初めてですが、岩手県はカラマツも多く、前職の中部局での経験を活かし、民有林関係者や地元の方々と緊密に連携を図りながら、国有林という資源をあらゆる面でフル活用し、地域の森林・林業の振興に取り組んでまいります。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

宮城北部森林管理署長

泉 光博 (出身県:岩手県)
前職:秋田森林管理署湯沢支署長



2年ぶりに当署に勤務することとなりました泉です。奥羽山脈から太平洋側まで所在する管内の国有林はとても豊かな自然環境と森林資源に恵まれています。森林の整備等を通じて多様な森づくりや「新しい林業」の取組みを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

米代東部森林管理署上小阿仁支署長

佐々木 弘義 (出身県:岩手県)
前職:林木育種センター東北育種場連絡調整課長



3年ぶりの国有林、11年ぶりの署勤務となります。森林資源の多い地域であることを生かし、林産物の供給、低コスト化などの新しい林業を通じ、より一層地域と木材産業に貢献できる国有林として職員共々取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

米代西部森林管理署長

佐藤 輝寛 (出身県:秋田県)
前職:東北森林管理局森林整備課長



多様な森林作りの推進や伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の実現に向け、地域の林業関係者とも意見交換等を行いつつ、低コストで効率的な事業実施に努めることで、地域の森林・林業のお役に立てるよう取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

秋田森林管理署長

橋爪 一彰 (出身県:静岡県)
前職:国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 総合調整室長



秋田森林管理署長に着任しました橋爪です。7年前の東北局三陸中部署での勤務後、林野庁企画課、関東局磐城署、北海道局日高北部署、森林研究・整備機構森林総合研究所を経験しました。地域の森林・林業・木材産業の価値を高めて魅力が増えるよう努めてまいります。

秋田森林管理署湯沢支署長

小林 貞成 (出身県:福島県)
前職:山形森林管理署 次長



湯沢支署は横手市、湯沢市、羽後町、東成瀬村に所在する4万4千haの国有林の適正な管理はもとより、ナラ枯れ被害対策や低コスト林業の民有林への展開を通じて、地域の皆様にお役に立てるよう署員一丸となり取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

由利森林管理署長

柏木 健悦 (出身県:秋田県)
前職:東北森林管理局経理課長



由利森林管理署長を拝命いたしました柏木です。地元自治体等との連携、情報発信等に努め、地域から信頼される国有林となるよう取り組んでまいります。また、怪我がなく風通しが良い学習できる職場づくりを職員一丸となって頑張っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

森林技術・支援センター所長

本間 家正 (出身県:青森県)
前職:東北森林管理局総務課企画官



青森県内の勤務は10年ぶりとなり、子供の頃に毎日見ていた岩木山をあらためて望むと、ふるさとに帰ってきたという実感がわきます。森林技術・支援センターが、地域から求められていることを踏まえ、関係機関と連携をしながら、技術開発課題等へ取り組んでまいります。

新任者・退任者挨拶

4月1日付

3月31日付

藤里森林生態系保全センター所長

山本 毅 (出身県: 秋田県)

前職: 東北森林管理局総務企画部企画調整課
監査官 (保全課付)



4月1日付で藤里森林生態系保全センター所長を拝命した山本です。世界自然遺産に登録されている白神山地 (秋田県側) の豊富な森林生態系の適切な保全と利用を図り、後世へと引き継ぐため、巡視員の方々や各関係機関との連携を強化し、全力で業務に取り組みます。よろしくお願いいたします。

退任者の皆様、長い間ありがとう

ございました。

皆様の新天地での

御活躍をお祈りいたします。

前計画保全部長 香月 英伸

4月1日付けで鹿児島森林管理署へ異動となりました。令和2年4月に赴任してから3年間、コロナ禍により様々な行事が中止となることもありましたが、地域の皆様、職員の皆様には大変お世話になりました。皆様とともに仕事に携わることができてとても幸せでした。ありがとうございました。

前企画調整課長 齋藤 政子

自治体の方々をはじめ、森林・林業・木材産業で活躍されている方々、国有林モニターの皆様から御意見を伺いながら、民国連携の推進、災害対応、デジタル化の取組など、幅広く貴重な経験ができました。4月からは林野庁森林利用課で森林経営管理制度を担当しますので、この経験を活かして精励いたします。2年間、本当にありがとうございました。

前資源活用課長 後藤 敏

3月31日付けで定年退職となりました。昭和57年4月に採用されて以来、職場の皆様からご指導、ご協力を賜りましたことに対しまして、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

皆様のご多幸、ご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。大変お世話になりました。

前津軽森林管理署金木支署長 白戸 副康

3月31日付けで定年退職となりました。昭和56年に青森営林局に採用され、あっという間の42年間でした。その間、職員の皆様に支えられながら様々な経験をさせて頂き、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。大変お世話になりました。

最後に、今後の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。

前三陸北部森林管理署長 岡本 雅人

北海道で採用されて以来、42年間、多くの方々に公私にわたり大変お世話になりました。最後の3年間は、東日本大震災の被災地で勤務させていただき、少しずつ活気を取り戻していく街の様子を見ながら三陸ライフを過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。今後の皆様のご健康と益々のご活躍を祈念しております。

前盛岡森林管理署長 宮沢 一正

4月1日付けで四国森林管理局へ異動となりました。令和元年12月からの在任期間中は、何かと助けていただきお礼申し上げます。大局の東北森林管理局は、他局に負けず事業量も多く皆様ご苦労が絶えないと思いますが、新型コロナにも引き続き油断せず、健康に益々ご活躍されますよう祈念申し上げます。

新任者・退任者挨拶

3月31日付

前宮城北部森林管理署長 仙北谷 誠

3月31日付けで定年退職となりました。最後には、太平洋側の森林・植生も見ることができ楽しく過ごさせてもらいました。

国有林40年、秋田県庁2年の42年間、森林・林業行政に携わり、この間、一緒に働いてきた皆様には大変お世話になりました。

今後の皆様のご活躍を祈念しております。

前米代東部森林管理署上小阿仁支署長 菅原 健一

昭和57年3月31日、濃霧で目の前が真っ白な高速道路を青森営林局に向かい、以来41年。今でも視界不良ですが、同期、諸先輩、後輩、上司の方々のご指導と叱咤激励、座右の銘の「前を見て歩け」を糧に林野人生を全うできました。

「金の卵」はふ化できませんでしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

前米代西部森林管理署長 小向 克之

光陰矢のごとし。あっという間の38年間でした。この間、多くの方に助けられて今日を迎えることができました。皆様に大変感謝申し上げます。これまで、赴任した先々では、地元の歴史、文化、景勝地などにふれ、良い思い出となりました。

国有林で働く皆様も体に気をつけて、赴任先での新たな発見を楽しんでください。

前秋田森林管理署長 尾前 幸太郎

4月1日付けで林野庁本庁へ異動となりました。令和2年4月に赴任してきてからの3年間、全国初の樹木採取権の設定やナラ枯れ対応など様々な取組をさせて頂きましたが、関係者の皆様（特に署内スタッフ）に恵まれ、楽しく仕事できたこと、深く感謝申し上げます。引き続き国有林の仕事に携わりますので、今後ともよろしくお願ひします。

前由利森林管理署長 米澤 実

3月31日付けをもちまして定年退職となりました。当時の秋田営林局に採用以来42年間、諸先輩、同僚及び各地域の方々にご指導等いただき大変お世話になりました。また、岩手県田野畑村や東北育種場の職員としても貴重な体験をし、関係いただきました全ての方々に感謝申し上げます。今後の皆様方のご多幸を祈念いたしまして挨拶いたします。

前森林技術・支援センター所長 相馬 勝則

昭和56年に青森営林局に採用され、これまで14回の引っ越しをするたびに、よき先輩、同僚、後輩に巡り会い、御指導を頂いたお陰で無事今日を迎えることが出来ましたことに、改めて深く感謝申し上げます。

今後の皆様の御多幸、御発展を祈念して退任の挨拶とします。42年間ありがとうございました。

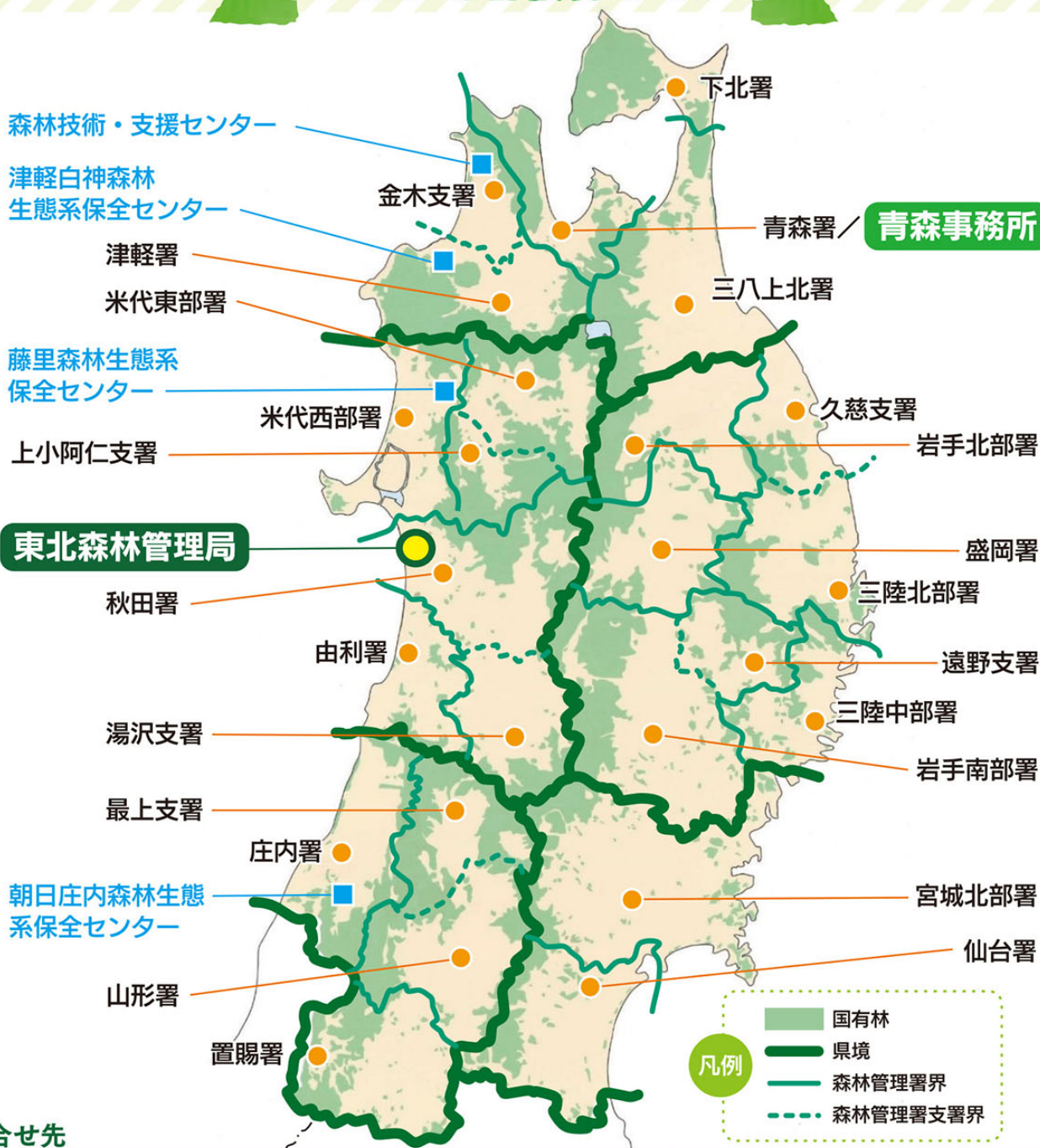
前藤里森林生態系保全センター所長 畠山 達

昭和56年に秋田営林局に採用されてから、多くの上司、同期、部下に恵まれ、良き先輩や後輩、転勤先々で知り合った多くの皆様のおかげをもって、良くも悪くも武骨な私が、楽しく充実した42年間を終える事が出来たと感じています。これまでの多くの出会いに感謝するとともに皆様のご健康とご活躍を祈念いたします。大変お世話になりました。



東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130			
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511			
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551		秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311			
岩手県	津軽白神センター	西津軽郡釜ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164	山形県	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076		最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246	
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730	
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161				
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122				
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246				
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131							
遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670								

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.230 ●発行日/令和5年5月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。